

カナダ・ジャーナル

JANUARY 1999 Vol. 8 No. 1
1999年 1月

www.CanadaJournal.com e-mail: japanad@direct.ca

糖尿病の新しい治療法 イリオーテイン・ハーブティー

バンクーバーのイーストウッド・バイオメディカル・リサーチ(株)は糖尿病治療に効果のあるハーブティー「イリオーテイン」を発売した。カナダ、米国、韓国では昨年三月から販売しており、日本と台湾でも早ければ九年初めにも市場に出まわる見込みだ。

糖尿病は、炭水化物が消化されできることで、細胞がエネルギーとして適切に取り入れることができない病気だ。そのためには胰島素注射が必要となり、長期的にわざわざ手間のかかる問題を引き起こす。糖を細胞に運ぶのはインシユリンであり、すい臓のベータ細胞から分泌されるが、糖尿病には、そのベータ細胞が自己免疫により破壊されていてインシユリンが全く分泌されないタイプだと、インシユリンの分泌はあ

るが量が不十分であるタイプ2の二つがある。タイプ2は全糖尿病患者のうち九十から九十五%であり、全世界で現在約一億人だが、寿命が延びるに伴い二〇一二〇年までには患者数は二億二千万人に達すると予測されている。

イリオーテインは糖尿病の研究を広範に行っているカルガリー大学の研究所により開発されたタイプ2治療用のサプリメント。タイプ2の患者はこれまで毎日のインシユリン注射の他、経口薬を服用して糖の吸収を助け血糖値を下げるが、血糖値低下を促すいくつかの作用のうち、各薬は单一の作用しかもたらさず、それぞれに副作用もある。これに対してイリオーテインは、すい臓を刺激してインシユリン分泌を増やすとともに食べ物が体内で糖に変わるスピードを遅く

して体が対応しやすくなる「Aフオーミュラ」、糖を運んでくるインシユリンを細胞がよりよく受け入れるようにする「Bフオーミュラ」、すい臓を健康に機能向上させる「Cフオーミュラ」と大きく分けて三つの効用を合わせ持つとされている。Aフオーミュラは即効性があ

り血糖値をただちに抑える作用である一方、B、Cは時間をかけて身体機能を向上させ、長期的効果をもたらす。カルガ

リー大学の臨床実験によれば、十人の被

験者のうち七人が四か月から八か月の間に血糖値が正常近くまでもどり、「イリ

オーテイン」の服用を止めてから三か月後にも血糖値に変化がなかった。イリオーテインは天然薬草から作られるので、作用が緩やかで、副作用もほとんどない(発売以来、イーストウッド社には五人の服用者から胃痛などの報告が寄せられたが、これはハーブティーの服用に慣れていないためと見られ、同社は過剰な服用は避けるようアドバイスしている)。

イリオーテインは殺虫剤や有害化学物質の使われしない野生のハーブを原料とするため、製造量が限られ値段も安くはない(一箱約二か月分が三百アメリカドル)。現在の販売量は毎月約千五百から二千箱で、イーストウッド社は調達できる原料の量を確実に増やしながら輸出先を増やしていくとしている。



Photo by S. Kondo